

責任投資ポリシー

当社は、責任投資原則（Principles for Responsible Investment、以下「PRI」）の基本的な考え方に賛同、署名しており、PRI が示す 6 原則への取組方針を責任投資ポリシーとして策定しております。当社の 6 原則への取組方針は以下のとおりであり、当社の活動を通じて社会全体の ESG 活動への貢献を目指します。

原則 1 投資分析と意思決定のプロセスに ESG 課題を組み込みます。

当社は農林中央金庫グループの投融資基本方針、人権方針および環境方針への適合を具体的に確認するプロセスを投資分析および意思決定プロセスに組み込み、これらの方針に適合しない、または適合が見込まれない投資資産には投資を行いません。また投資対象から除外する事業を具体的に定め、投資分析と意思決定のプロセスにおいて、当該事業が投資資産に含まれていないことを確認します。

原則 2 活動的な所有者となり所有方針・所有習慣に ESG 課題を組み入れます。

当社は、投資資産において投融資基本方針、人権方針および環境方針への適合に問題が発見された場合、これらの方針に適合するよう投資対象に働きかけを行います。

原則 3 投資対象の主体に対して ESG 課題について適切な開示を求めます。

当社は投資対象の事業ステージや投資対象との関係に応じて、投資対象に対して ESG 課題に関する適切な開示を求めます。

原則 4 資産運用業界において本原則が受け入れられ実行に移されるように働きかけを行います。

当社は業界全体で投資対象の主体が ESG 課題への取り組みを深化できるよう PRI および業界団体の活動を通じて、ベンチャーキャピタルファンドおよびプライベートエクイティファンドを運用する各社と適切な連携を図ります。

原則 5 本原則を実行する際の効果を高めるために協働します。

当社は、気候変動など地球規模の課題に立ち向かうため、親会社である農林中央金庫を始め、他社と適切に外部連携をします。

原則 6 本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

当社は PRI 報告のフレームワークに則り、本ポリシーに関する活動状況を報告いたします。